

東京大学での所属学部/研究科・学年(渡航開始時):

留学先大学: National University of Singapore

留学先所属学部/研究科等: Arts and Social Science

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体 5.民間企業  
6.起業 7.その他( )

現在の所属学部/研究科・学年: 文学部行動文化学科社会学専修課程4年

### 1. 留学先大学の概要

National University of Singapore(以下、NUS)は国内トップクラスの大学で、国際的な大学ランキングなどでも高い評価を受けている。留学生を多数受け入れていることに加え、フルタイムの学生もアジアを中心に各国から集まってきたので非常に国際的なキャンパスとなっている。授業は語学のものを除いて全て英語で行われる。

### 2. 留学の動機

第一に、英語の運用能力の向上。留学前は英語でのコミュニケーションに大きな障害を感じていた。英語が実践的なレベルで使えることは、今後の人生の様々な場面において大きな意義を持つと考えた。  
第二に、社会学及び、関心のある分野を英語で学びたかった。英語で学ぶことが世界的に見て普通分野を英語でそのまま学習することで理解を深めるとともに、英語で議論できるようになりたいと考えた。

### 3. 留学の時期など

留学前の本学での修学状況: 西暦[2012]年 学部[ 3 ]年の[ 冬 ]学期まで履修

留学中の学籍: 留学

留学期間: 2013年1月 ~ 2013年5月 学部[ 3 ]年時に出発

留学後の授業履修: 西暦[ 2014 ]年 学部[ 4 ]年の[ 夏 ]学期から履修開始

就職活動の時期: 西暦[ 2013 ]年 学部[ 4 ]年の[ 12 ]月頃に(行う予定)

本学での単位数: 留学前の取得単位[ 54 ]単位 留学先で取得し、本学で認定された単位[ 未定 ]単位  
留学後の取得(予定)単位[ 66 ]単位

入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[ 2010 ]年 [ 4 ]月入学 西暦[ 2015 ]年 [ 3 ]月卒業

本学入学から卒業/修了までの期間: [ 5 ]年[ ]ヶ月間

留学時期を決めた理由

サークル活動が落ち着き、留学のための準備に時間が取れるようになった。

### 4. 留学の準備

留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

何かと時間がかかるので早めに進めることをお勧めします。NUS や東大側からの指示通り進めれば問題ありません。

ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

留学期間のみ有効の Student's Visa。申請先は、NUS を経由してシンガポールの当局。

留学前にオンラインで仮申請 シンガポール渡航後、初めの週に NUS で指紋採取などの手続き 二週間後、NUS で受け取り。特に難しいことはないので、各種の指示に従ってください。

医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)

5カ月間だったので健康診断は特に必要ありませんでした。1年間の場合は英語の診断書が必要になります。

保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

AIUの留学保険に加入しました。

留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学直前の学期(3年冬学期)は、履修するにあたって1月以降の数回の授業に出席できない旨を伝え、それでも単位取得が可能か担当教官に尋ねました。その学期は履修した科目の殆どがレポートと授業参加による評価だったので、シンガポールからレポートを提出することで単位を取得することができました。また一つの科目に関しては、学期末試験をレポートに代替してもらうことで単位を取得しました。これは学部や担当教官によって可能かどうか異なるので各自確認が必要です。

語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

TOEFL70前後。留学前は語学学習として、東大の工学部で行われている SEL という外部機関による英語の授業に参加したり、独学で進めていました。

日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど  
週末に旅行に出かける人も多いと思いますが、日本語のガイドブックはシンガポールで買うと高いので持っていくと良いと思います。

#### 5. 学習・研究について

履修した授業科目のリスト(そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに をつけてください。)

Global Issues (Political Science)

Social Inequalities: Who Gets Ahead? (Sociology)

Japanese History: From Samurai to SONY (History)

Japan and Singapore

Globalizing India: The Politics of Economic Change

留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

授業には毎週の講義形式のものと、隔週でクラスをいくつかのグループに分けて行われるディスカッション形式のチュートリアルと呼ばれるものの二種類があります。各講義の前にはリーディングの課題が出されます。チュートリアルは科目や回によってまちまちですが、事前課題に基づいてディスカッションしたり、グループで作成したプレゼンテーションをしたりします。したがって全体としては予習が中心になる人が多いのではないかと思います。

1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

3科目を通常通り履修し、2科目を聴講の科目として履修しました。聴講は、講義のみを聞きたい場合に制度として利用していました。実質は3科目なので単位数としては12単位となります(1科目4単位)。一週間では、1科目あたり120分の講義が毎週1コマ、120分のチュートリアルが隔週で1コマです。3科目履修していたので合計は週あたり540分の授業時間です。事前課題は内容などにもよりますが、2~5時間ほど1科目あたりかかっていたと思います。

学習・研究面でのアドバイス

シラバスだけではどのような授業なのか、先生の英語は聞きやすいのか、どんな学生が集まっているのか等は分からないので実際に色々な授業に出てみることをお勧めします。ディスカッションやグループワークをすることを考えると、どんな先生・学生と学習するのかというのは授業を充実させるために重要だと思います。

語学面での苦勞・アドバイス等

言語の面で不安があれば、大学の授業とは別に自分で勉強する時間をとることが大事かと思っています。

#### 7. 生活について

住居(住居の種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

NUSのキャンパス内にある寮の一人部屋に滞在しました。5カ月間の滞在と朝と夜の食事が出て、22万円程でした。新しい寮だったので生活するうえで不便な点などはありませんでした。

生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

大学のキャンパス内で食事が出るところが沢山あり、コンビニエンスストアや薬局、書店、コーヒーショップなどもあるのでキャンパス内はとても便利です。普段は大学内のATMでクレジットのキャッシングを使ってお金をおろしていました。

危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

シンガポールの治安は非常に良いですし、大学内はとくにセキュリティがしっかりしているので特に心配は要りません。病气やけがの際は大学の病院で診てもらえることが出来ます。

留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

寮費約4万円、昼食などの外食代約2万円、交通費約2000円、雑費3000円など。

・留学に要した費用総額とその内訳

約50万円(留学期間中の東京大学への授業は除く。交換留学のため授業料は東京大学に払っていました)

寮費約22万円。渡航費約7万円(往復)。昼食などの外食費約10万円。ビザ申請約1万円。交通費約1万円。教科書代1万円。娯楽費6.5万円。雑費1.5万円。

奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

受給していません。

学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

大学内のサッカー大会や試合。博物館見学やシティツアー。旅行(マレーシア、タイ)

#### 8. 留学先大学の環境について

留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

学期の初めの頃に留学生向けの各種のイベントが連日開催されます。知り合いを増やしたり、分からないことを聞く良い機会なので積極的に活用すると良いと思います。

大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)  
概して設備は充実しています。自習室やスターバックスは24時間開いているので便利です。2013年にはキャンパス内に新しいプールとジムが出来ました。キャンパス内ではWiFiが使えるのでPCを使うのにも便利です。

#### 9. 留学と就職活動について

(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなどまだ行っていません。

(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響  
自らの興味関心の方向性が明確になったため、就職活動をする分野を絞り込むようになった。また、これまでは言語の面での不安があったがそれが軽減したため、国内の外資系企業なども有力な選択肢に挙がるようになった。

留学中の就職活動への対策など(もしあれば)  
特にありません。

就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- 1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )
- 4.非営利団体(団体名又は分野: ) 5.民間企業(企業名又は業界: )
- 6.起業(分野: ) 7.その他( )

#### 10. 留学を振り返って

留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感  
留学を通じて得られることの一つに、本やインターネットからは得られない生の経験がある。生の経験からでしか次の行動のモチベーションとなるような、強い感情の揺れや思いというのは生まれないと思う。そういった意味で生の経験を機会の多い留学という一種の行動は、今後何か行動を起こしていこうと考える学生にとって貴重な機会になり得る。そして、そのような生の経験から生まれる強いモチベーションと行動のサイクルを続けていくことが、自らを停滞させないために必要なのではないか、このように考えるようになった。

留学後の予定  
インドのグルガオンで語学事業のインターンシップに参加。

今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス  
なぜ自分は留学したいのかを考えるとともに、最終的には自分の直感を信じて満足のいく選択を行ってください。

#### 11. その他

準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

東京大学での所属学部/研究科・学年(渡航開始時): 法学部 / 政治学科・3年

留学先大学: National University of Singapore 留学先所属学部/研究科等: Faculty of Arts and Social Science

卒業・修了後の就職(希望)先: 5.民間企業

現在の所属学部/研究科・学年: 法学部 / 政治学科・4年

氏名・メールアドレス・電話番号は公開しません。

#### 1. 留学先大学の概要

シンガポール国立大学、シンガポールに3つある大学のうちのひとつ。

#### 2. 留学の動機

シンガポール国立大学の学生のアグレッシブさと積極的な姿勢に刺激を受けたこと、経済発展著しいアジアのハブであること、多民族国家で国際色豊かなことなどから、シンガポール国立大学という学習環境に興味を持った。なかでも、英語・中国語の向上と経済発展の背景にある政治の安定及び効率的な行政について学ぶこと、多様な価値観を知ることを主目的とした。

#### 3. 留学の時期など

留学前の本学での修学状況: 西暦[2013]年 学部[3]年の[冬]学期まで履修

留学中の学籍: 留学

留学期間: 2013年01月 ~ 2013年04月 学部[3]年時に出発

留学後の授業履修: 西暦2013年 学部[4]年の[夏]学期から履修開始

就職活動の時期: 西暦[2013]年 学部[4]年の[5]月頃に(行う予定)

本学での単位数: 留学前の取得単位[43]単位 留学先で取得し、本学で認定された単位[ ]単位  
留学後の取得(予定)単位[47]単位

入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2010]年 [4]月入学 西暦[2014]年 [3]月卒業/修了

本学入学から卒業/修了までの期間: [4]年[0]ヶ月間

留学時期を決めた理由

留学を決意したときに申請し、最速で行けるのがこの時期だったため。

#### 4. 留学の準備

留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

ほぼ全てオンラインで行われ手順が多いため、手続きの際はインターネット環境の良いところにいた方が良い。また、オンラインでの支払いがあるためクレジットカードが必須。

ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

5ヶ月弱の学生ビザを取得した。日本国籍保持者はシンガポール入国に際してビザ不要のため、入国前にインターネットで申込みを行った後、大学で留学生を対象に一斉に行われる書類手続きを経て、数週間後にビザを受け取る事ができる。

医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)

留学1学期間のビザであれば健康診断の結果は必要なし。半年以上の場合は英語の健康診断結果が必要だが、大学内の保険施設で準備可能。予防接種などは特に受けなかった。

保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

大学より提供される保険のほか日本で留学保険に加入したが、利用する機会はなかった。

留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

法学部教務係窓口にて留学手続き書類を提出し、学部長面接を経て留学を了承頂いた。留学にあたって試験などの特別措置はなく冬学期の試験は全て受けられなかったが、先生のご厚意によりゼミ及び前倒し試験の可能な他学部の単位については認めて頂くことができた。

語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)

交換留学申請時は TOEFL81 点で、高くはなかった。留学直前の学期には英語で開講されている、もしくは英語文献を扱う法学部科目を受講して英語での学習に慣れるよう努めた。

日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

大抵向こうで手に入りますので、日常生活で最低限これは必ず使うというもののみ持って行けば良いと思います。

#### 5. 学習・研究について

履修した授業科目のリスト(そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに をつけてください。)

Japan and Singapore

Geopolitics

Public Administration in Singapore

Comparative Politics

Chinese3

( は全て予定)

留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

それぞれの授業ごとに配られるリーディングリストをもとに予習でリーディングを行い、授業で先生がそれらについて

レクチャーし、復習として(毎回ではないですが)クラスレスポンスを提出する、というのがおおまかな授業の流れでした。授業ごとに課されるリーディングの量は1つの授業につき平均で30~40ページほどあったと思います。学期の半ばには中間試験もしくは課題提出が課され、他の学生と組んで行うグループワークや個人エッセイを全ての授業についてこなさなければならず、なかなか大変でしたがグループワークを通して文化や国籍の違う学生たちと協働する経験は新鮮なものでした。また、シンガポール国立大学での授業はそれぞれの授業についてチュートリアルという補修的なコマが設けられており、ここで授業の内容をもとに議論を行い生徒内で意見交換することができました。

東京大学の授業と比較して印象的だったのは中国語の授業で、週に4時間の授業のほか定期的に宿題・小テストがあるためコンスタントに中国語を勉強することができ語学学習の助けになりました。また、授業中の使用言語は全て中国語であり、特にチュートリアルのコマでは生徒全員に中国語会話を練習させ発表させるのが印象的でした。中国語の授業はエクステンジ・フルタイム含め留学生のみが受講できるものとなっていますが、中華系の家庭で家族と中国語を話しているため会話はできるけど筆記を学びにきているという生徒も多く、漢字は楽勝ながら発音で苦労する日本人としては、大変刺激を受けました。またシンガポールでは日常会話で中国語を耳にする機会が多いこと、話者が身近にいるため練習相手が得やすいこと、などもモチベーションにつながりました。

1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

1学期あたり5科目を履修しました。1コマ2時間で、1つの授業は基本的に1週間に1コマのレクチャーと2週間に1コマのチュートリアルから成り立っています。中国語のみ1週間に1コマのチュートリアルがありました。1日平均して3~4時間ほどを予習に費やしたと思いますが、授業で指定されたリーディング量を予習で全てこなすのはやはり難しかったです。現地の学生を見ても、授業が進むにつれ課題が出て勉強に費やす時間は増えるという印象でした。

学習・研究面でのアドバイス

わからないことはとにかく聞いてみる。積極的に授業内で友達をつくること。

現地の学生はもともと仲の良い3~4人程度で同じ授業を受けて協力する機会が多いこともあり、情報を得るという点で留学生はなにかと不利ですので、早い段階で同じ授業をとっている友達を作り協力できればより良い学習環境が作れたと思います。(自身の反省から)

語学面での苦労・アドバイス等

アクセントが強いのでインド系の教授の英語や各国からの留学生が話す際には理解に苦しみました。ただこれには現地の学生も苦労していたようでしたので、聞き取れないからといってあまり落ちこまず(笑)授業のスライドとリーディングで補うよう務めました。

## 7. 生活について

住居(住居の種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学内にあるUTown Residenceというホステルに住んでいました。大学のUTownというエリアにある築2~3年の新しい建物で、共用ラウンジやランドリールームなど完備しています。またUTown エリア内には食堂から薬局、コンビニ、スーパー、ジム、24時間オープンなスターバックス、自習室、パソコンルーム、本屋 etc.が揃っており生活に必要なことはほぼ不足なくこの中で済ませられます。(なので気づいたらここ数日一歩も大学の外に出ていない...なんてこともざら。)

寮は1つのアパートメントを4人でシェアするスタイルで、それぞれが個人の部屋を持ちキッチン・トイレ・バスルームを共同で使用していました。またハウスメイトは宗教や国籍にも考慮して割り振られるようで、私のアパートメントでは2人がイギリス、2人が日本からの留学生でさらに4人も法学部でした。

シンガポールでは家賃が高く大学外に住む場合でも複数人でシェアしている学生が多いです。また良い物件を見つけるのも難しいと聞きますので、よっぽどの理由が無い限りは大学からの案内に従って入国前に大学内にあるホステルもしくはホールを手配しておくことをおすすめします。ホステルとホールのおおまかな違いとしては、料金が違うほか、ホールの方が現地の学生が多くホール対抗のスポーツ大会があるなど課外活動が盛んなことです。しかし、寮の割当に関しては必ずしも希望が通るとは限らず、外国人学生はホステルに住むことが多いようです。

生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

冬の日本から移ってきた私としては、冬(?)でも大変気温が高く突然に豪雨の降り出すシンガポールの気候は、慣れるまでは負荷でしたし季節の感覚がおかしくなりそうでしたが、慣れてしまえば過ごしやすと言えます。

大学はシンガポールといえば連想されるマーライオンやマリナーベイサンズなどの中心部とは少し離れたところにあり、シンガポール西部の丘の斜面に立地しています。広いキャンパス敷地内には緑が多く建物も入り組んでおり、慣れるまでは迷子になることもよくありましたが、慣れてからも気を抜くとすぐに迷います。

交通機関の運賃は安くシンガポールは狭いので鉄道、バス、タクシーなどを使えばシンガポール各地へのアクセスが良いです。ただ学期中に最も利用するのは広大な大学内を無料で運行するシャトルバスでしょう。寮から学部への通学も、このシャトルバスで行います。歩けないことはないのですが、とにかく暑いのと丘の斜面に建てられており傾斜があるため歩いて通う人はあまり見かけません。

他の大学寮と異なりUTown Residenceではミールプランの提供がなかったことや、寮での調理器具の使用が原則禁止されていたことから、主な食事はUTown内での外食でした。とはいっても、大学食堂や大学外でもホーカーセンターなどを利用すれば1食5ドル以内で食べる事ができます。

お金に関してはある程度の手配は渡航時に持ち込んだほか、国際キャッシュカード(新生銀行)でシンガポールドルを引き出していました。お金の管理は現地の銀行口座は簡単に開設できましたが、円建ての預金ができなかったため結局使わずお金は部屋で管理していました。(おすすめはできませんが)

危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安はかなりよく、医療機関も大学内にある病院を利用することができます。留学開始時は慣れない気候や食事が知らず知らずのうちにストレスとなるので、無理をしないようにまた気持ちの塞ぐときは外へ出るように心がけました。心の健康という点では、毎日誰でも良いので(友達でも警備のおじさんでも)誰かしらと話してみると良いと思います。

<p>留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の生活費とその内訳</li> </ul> <p>5～6万(主に食費、交通費)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学に要した費用総額とその内訳</li> </ul> <p>65万</p> <p>(おおよそ内訳)</p> <p>生活費27万、往復航空券8万、手続き費3万、寮費17万、留学保険5万、娯楽費(東南アジア地域への旅行)5万 奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)</p> <p>1学期という留学期間が中途半端だったことや奨学金を探し始めるのが遅かったこともあり、奨学金は一切受けませんでした。実際には留学申請から派遣決定までは時間があつたのですが、派遣が決定していなくてもこの間の早い段階で奨学金も申し込んでおくべきでした。</p> <p>学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)</p> <p>大学のスタッフによるバレーボール部に参加したほか、チャーニーズニューイヤーや学期途中の長期休暇には東南アジア諸国に旅行に行くこともありました。</p>
<p>8. 留学先大学の環境について</p> <p>留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)</p> <p>留学開始時のサポートがとても手厚く、おかげでスムーズに留学を開始する事ができたと思います。学期開始前のオリエンテーションやランゲージエクステンション、シンガポール案内など、こういったサポートの運営は学生中心に行われているためとても親しみやすいです。シンガポール渡航前より大学から送られてくるメールに目を通し、こういった機会を積極的に活用することで留学の体験も幅広いものになると思います。たとえば私はNUSのスタッフとのバディープログラムに参加し、ドイツから来てNUSで研究教育を行っている方に留学期間中を通して大変お世話になりました。</p> <p>大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)</p> <p>シンガポール国立大学の特徴のひとつは潤沢な資金を活用した豊富で新しい大学施設と言えます。私の滞在中にも食堂やジムが新規オープンし、大学で生活する上で不足を感じたことはほぼありませんでした。学習面の設備では図書館書籍の電子化が進んでおり、授業指定文献のほとんどがパソコンで自宅からでも手に入ることが印象的でした。そして何よりも、大学内に多数の寮が用意されており、これらの滞在施設は大学外よりも安価だけでなく学部へのアクセスも非常に良く(バスで5～10分)大変便利で学習にも集中しやすい環境でした。</p>
<p>9. 留学と就職活動について</p> <p>(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど</p> <p>(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響</p> <p>就職に対する考え方に特に影響はありませんでしたが、海外に出て働きたい、そのために大学生という今の期間を利用してより自分が生み出せる価値を高めたいという想いは強くなりました。</p> <p>留学中の就職活動への対策など(もしあれば)</p> <p>現地で働いていらっしゃる社会人の方とお会いできる機会のあるときには、積極的に活用して就職やお仕事の話などについて聞かせて頂きました。(シンガポール版 OB 訪問)</p> <p>就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください</p> <p>1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名: ) 3.公的機関(機関名: )</p> <p>4.非営利団体(団体名又は分野: ) 5.民間企業(企業名又は業界: )</p> <p>6.起業(分野: ) 7.その他( )</p>
<p>10. 留学を振り返って</p> <p>留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感</p> <p>留学を通して、海外に出るといえるのはどういうことか、海外で働く、海外の人と働くとはどういうことなのか、雰囲気だけでも汲み取れたのではないかと思います。留学当初は(予想していたものの)英語で新しい知識を吸収したり新しく友達を作ったりということが大変に思え、逆に日本に籠っていた方が私はうまくやっていたのではないかと、この留学経験の価値は少なくとも早い段階で自分が日本に特化すべきということを知れたことだということに思うときもありました。その一方で、経済成長を続けるシンガポールやまわりの東南アジア諸国の勢いを感じさらに勉強を続けるにつれ、やはりここはこれから面白いことがどんどん起こってくることであり、自分が興味を持つ政治や行政という観点からもこれから発展してくる国が多い中で避けては通れないところだということにも思いました。</p> <p>シンガポールの学生は、幼い頃から競争社会で生きることに慣れていますが、また彼らにとって競争とは自国ないだけでなく、国外から人材としてシンガポールにやってくる多くの優秀な外国人との競争でもあります。そんな中、彼らは日本の学生に比べて自分にとって武器となるものは何かを戦略的に身につけているように感じられました。そういった競争社会に対して全面的に肯定するわけではないですし、彼らも含めて多様性のあるのがシンガポールですが、将来的に海外で働くことを考えるのであれば自分の法学・政治学という専門性をより高めるべく勉強しなければならぬと思うようになりました。</p> <p>留学後の予定</p> <p>未定ですがいつかまた戻ってシンガポールで働くのも面白そうだと思います。</p> <p>今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス</p>
<p>11. その他</p> <p>準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物</p> <p>シンガポール国立大学への留学経験者のブログ <a href="http://d0tsd0ts1ine.blog131.fc2.com/">http://d0tsd0ts1ine.blog131.fc2.com/</a></p> <p>その他、手続きにおいてそのたび指定されるウェブサイトはよく利用しました。</p>